報道関係者と民博との懇談会　話題一覧

2021 年 7 月 15 日(木)15:30～17:00　懇談会

※話題の内容は予定ですので、変更する場合もございます。

1．挨拶

― 吉田 憲司（館長）―

2．ニュースリリース

●みんぱくの最新情報と今後３カ月の行事をご案内いたします。

― 園田 直子（議長）―

3．最新の研究紹介

詳しくはこちら

『フィールド言語学者、巣ごもる。』

(吉岡乾 著／創元社)

― 吉岡 乾（人類基礎理論研究部 准教授）―

4．特別展　「ユニバーサル・ミュージアム ―― さわる！“触”の大博覧会」

詳しくはこちら

さわって体感できるアート作品が大集合！本展では「歴史にさわる」「風景にさわる」「音にさわる」などのテーマのもと、 さまざまな素材と手法を用いて、“触”の可能性を追求します。展示場に足を運び、手を動かす。来館者一人一人の身体から 「ユニバーサル・ミュージアム」（誰もが楽しめる博物館）が始まります。

会 期：2021年9月2日（木）～11月30日(火)

会 場：国立民族学博物館 特別展示館

観覧料：一般 880 円（600 円）大学生 450 円（250 円）

高校生以下 無料

※（ ）は20 名以上の団体料金, リピーターは団体料金を適用

※本館展示もご覧いただけます

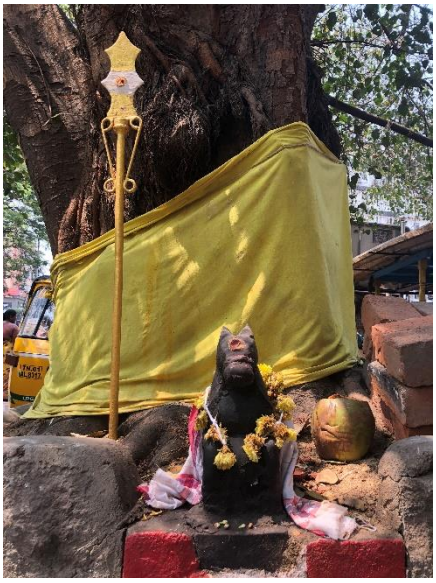
―　広瀬 浩二郎（学術資源研究開発センター 准教授）―

5． 企画展　「躍動するインド世界の布」

詳しくはこちら

　インド世界の布は、場をくぎり、人をつなぎ、神と人の媒介となり、政治をうごかし、グローバル経済をうみだします。このように躍動する布の現場に光を当て、本企画展ではインド社会をつくりだしている人びとの営みを多彩な布とともに紹介します。

会　期：2021年10月28日（木）～2022年1月25日(火)
会　場：国立民族学博物館　本館企画展示場
観覧料：一般　580　円（490　円）大学生　250　円（200　円）
高校生以下　無料
※（　）は20　名以上の団体料金, リピーターは団体料金を適用
※本館展示もご覧いただけます



【写真】街角のインドボダイジュ。布が捧げられ、聖木として祀られている。
インド、タミル・ナードゥ州チェンナイ市
2018 年、福内千絵撮影

― 上羽 陽子（人類文明誌研究部 准教授）―

6. 巡回展　「ビーズ アイヌモシリから世界へ」

　ビーズとは、部材と部材とをつないだものです。ビーズの歴史は古く、人やものをかざるだけでなくさまざまな目的のために、多様な素材を使って作られてきました。本展示は、アイヌのタマサイ（首飾り）をはじめとする国立民族学博物館の収蔵品を中心に、世界のビーズを紹介します。

会　期：2021年9月18日（土）～11月21日(日)
会　場：国立アイヌ民族博物館　特別展示室

― 池谷 和信（人類文明誌研究部 教授）―

※その他の配布資料　大同生命地域研究奨励賞受賞のお知らせ(資料 5)

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology
お問い合わせ
国立民族学博物館 総務課 広報・IR係
電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp